

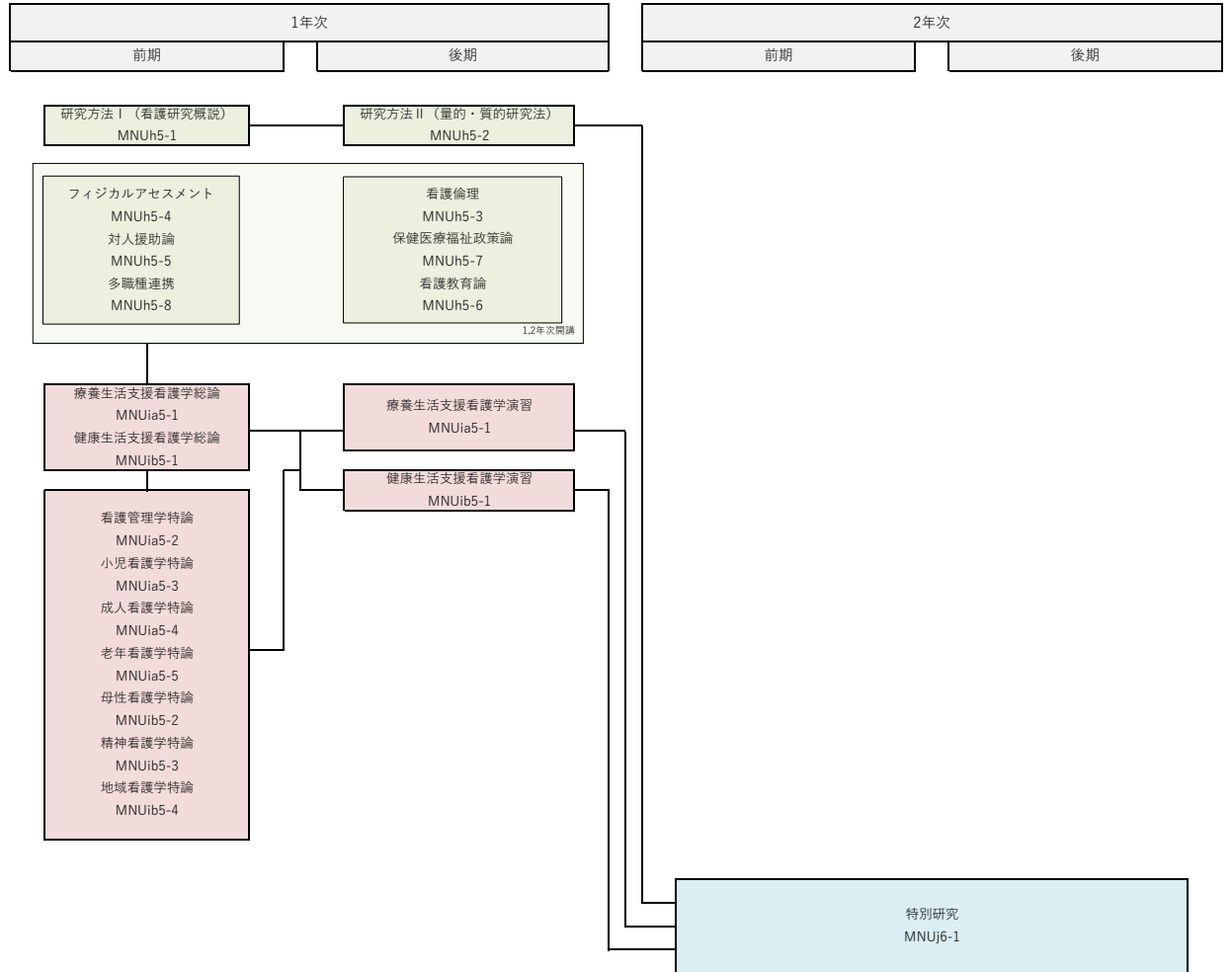
共立女子大学大学院 看護学研究科 履修系統図

科目区分	
------	--

共通科目	<p>看護実践上の課題を見出し、研究を計画・実施し、課題解決のための方略を提案する能力の基盤となる研究方法2科目を必修として配置する。</p> <p>看護実践の質の向上に向けた、高度なアセスメント能力と対人支援能力の基盤となる科目、療養生活並びに健康生活を支える環境の改善に向けて、保健医療福祉の政策・制度、組織及びシステムに働きかける能力の基盤となる科目、並びにケアの対象者並びに多職種を持つ多様な価値観や背景を理解し高度看護実践を展開、牽引する基盤となる科目、計6科目を選択必修として配置する。</p>
------	---

専門教育科目	<p>『専門教育科目』においては、看護及び看護実践に関連する理論と最新の知見を通して健康課題を分析し、専門性を深化させるための科目を、「療養生活支援看護学」「健康生活支援看護学」の各領域に配当している。また、特定の分野に焦点をあて、専門的な知識と思考を修得する<特論>、専門分野の枠を超え、専門性の支えとなる広い視野と知識を修得する<総論>と<演習>の3つの授業形態を設ける。</p> <p>「療養生活支援看護学領域」においては、病状の回復・安定と療養生活の質向上を支援する看護実践の課題を見出すために必要な研究能力・看護実践能力の獲得を目的とし、看護管理学特論、小児看護学特論、成人看護学特論、老年看護学特論の4つの特論、及び領域としての包括的な知識をもとに教育・研究を一体的に学修できるよう療養生活支援看護学総論と療養生活支援看護学演習を配置する。</p> <p>「健康生活支援看護学領域」においては、健康増進と生活の質の向上を支援する看護実践上の課題を見出すために必要な研究能力・実践能力の獲得を目的とし、地域看護学特論、母性看護学特論、精神看護学特論の3つの特論、及び領域としての包括的な知識をもとに教育・研究を一体的に学修できるよう健康生活支援看護学総論と健康生活支援看護学演習を配当している。</p> <p>「療養生活支援看護学領域」「健康生活支援看護学領域」のいずれか専攻する領域の「総論」「演習」、並びに特論1科目2単位以上の修得を必須とする。また、幅広い視野を持って、地域包括ケアシステムの中で研究、看護実践を推進する基盤を養うため、専攻していない領域の「総論」についても履修することを勧奨する。</p>
--------	---

特別研究	『特別研究』は、『共通科目』『専門教育科目』を通じて修得した、幅広い視点と専門的な観点から課題を捉え、分析し、解決策を考案していく能力を基盤に、指導教員の研究指導を受けつつ、学位論文をまとめていく集大成の科目として配当している。
------	--



ナンバリングの読み方 (例) MNUh5-1

M	M: 大学院 修士課程・博士前期課程
---	--------------------

NU	NU: 看護学研究科
----	------------

h	共通科目 h
分野	専門教育科目: 療養生活支援看護学領域 ia 専門教育科目: 健康生活支援看護学領域 ib 特別研究 j

5	5: 大学院 (博士前期・修士) 基礎科目
順次性	6: 大学院 (博士前期・修士) 発展科目(課程修了レベルを含む)

-1	一意の数字を表す通し番号
通し番号	